**報告書**

|  |  |
| --- | --- |
| クラス番号 | R4SA01 |
| 氏名 | 青木宇宙 |
| 提出日 | 2021/06/25 |
| 期間 | 2021/06/21 ~ 2021/06/25 |

**研究テーマ：**

●既存のタスク管理アプリはビジネス向け・個人向けのみで学生に特化したものは存在しない。

●コロナウイルス蔓延による遠隔授業・オンライン就活が重なった私たちの世代は、学校からの連絡（課題）・企業からの連絡がメールに集中し、潜在タスク・優先順位の管理が大変で不便に感じる場面が多々あった。

以上2点から学校(講師)とのやり取りに特化した学生向けのタスクの管理（主に可視化）をテーマとし卒業研究とする。

〇概要

既存アプリを対象とし方式ごと（カレンダー方式・ToDoリスト方式・カンバン方式）にタスクの可視化（表示方法のみでなく入力方法・独自機能・入力項目・カラーバリエーション等）方法を学生が使用する際の利便性を考慮した上で分析し、データ化する。

（現状、学生観点のタスク管理方法についてのデータが存在しないため研究として成り立つという考え方）

そのデータをもとに、実際にアプリを作成しデータと共に研究成果とする。

（進捗度合いにもよるが、可能ならばタスク表示画面のみ上位２パターン程作成する可能性あり）

**確認事項**：

１．個人の作業内容（今週・来週・現在の工程）

２．現状の問題点

３．問題点に対する対策

４．メンバーの作業内容

５．メンバーの進捗

６．全体のスケジュール（メンバーの現在の工程・年間）

７．全体の進捗

８．来週の予定（メンバー・チーム）

９．現状の問題点（メンバー・チーム）

１０．問題点に対する対策（メンバー・チーム）

**１．個人の作業内容（今週・来週・現在の工程）**

今週

方針とスケジュールの確認

ToDoリストについての調査レポート作成

来週

若者向けの論文や理論を調査し、資料作成を行う。

現在の工程

論文や理論集め

**２．現状の問題点**

今週で先生とチームのみんなでしっかりと話し合い、方針やスケジュールを確定させることができたが、リーダーとして、その段階をもっと早めにできたなという反省点がある。マネジメント能力不足を感じる。

**３．問題点に対する対策**

チームとして、話し合うことはできるようになってきているので、これからも話し合う機会をたくさん設け、疑問点は即座に解決できるように動く。マネジメント能力を向上させる。

**４．メンバーの作業内容**

清さん

・今後のスケジュールについての話し合い

・ToDoリストのアプリの調査

長井さん

・研究内容について各自の意識に相違があった為、話し合いが多く作業という作業はしていない。

渡部くん

・方針決め

・若年者に対する研究論文集め

澤野くん

・カレンダーの調査

・Djangoの構造理解とテンプレート作成

**５．メンバーの進捗**

メンバーの人はとても仕事が早く、うまく仕事を振ることができれば作業が進みやすくなるのだが、リーダーの私の能力不足でメンバーに不安を与えているなと感じます。進捗については問題ないと感じます。

**６．全体のスケジュール（メンバーの現在の工程・年間）**

メンバーの現在の工程

現在はToDoリストについてまとめてもらい、終わり次第、若者の視点関連について調査を行ってもらうようにしています。

年間

調査　→　研究　→　アプリ作成　→　評価　→　結論

**７．全体の進捗**

完成（発表できる状態）が100％とすると、まだ35％ほどだと感じます。

スケジュール通りにいけば完成まで持っていけると思います。調査や研究、画面設計を頑張って早めに終わらせたいと思います。

**８．来週の予定（メンバー・チーム）**

メンバー

若者に関する内容の資料や論文を調査する。

チーム

調査した内容のシェアや作業の進捗を合わせていく。

**９．現状の問題点（メンバー・チーム）**

メンバー

メンバーの問題点はありません。

チーム全体

リーダーの私が方針などの変更や、メンバー間での理解を合わせることができていなかったため、不安を与える結果となってしまった。

**１０．問題点に対する対策（メンバー・チーム）**

メンバー

問題なさそうです。

チーム

私のマネジメント能力を向上させると共に、メンバー間でわからないことや不安になる要素は早めに解消できるようサポートを行うようにする。